

保護者各位

岩手県立種市高等学校
校長 松場 喜美夫

冬期間における新型コロナウイルス感染症防止対策（11月16日版）について（お願い）

時下 皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本校の教育活動に対しまして、ご支援、ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

本校においては、保護者の皆様のご協力により、ここまで新型コロナウイルス感染症の影響をほぼ受けることなく、各種行事、3年生の受験等概ね計画どおり進んでおります（12月の2年生修学旅行は、旅行先を青森・秋田方面に変更しましたが、弘前を中心とする新型コロナウイルス感染症の感染拡大により残念ながら中止といたしました）。

しかしながら、既に報道等でご存じとおり、11月9日頃より岩手県内において40名以上の新型コロナウイルス感染者が確認されており、滝沢市内の小学校が休校になる状況となっております。感染者の特定は進んでおりますが、感染源が明確でない状況です。

立冬を迎え、本校でも暖房を入れる時期となりました。ここまでもお願いをして参りましたが、これ以降の冬期間がインフルエンザも含めて感染症対策の本番の時期であります。3年生は、まだまだこれから受験が続きます。

つきましては、11月9日付け岩手県対策本部通知を受け、「新しい生活様式」の徹底に関しご家庭でのさらなるご協力をお願いいたします。併せて、6月3日付けで配付いたしました「新型コロナウイルス感染症防止対策について」を一部訂正いたします。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、対応が変更となることもあります。

記

1 感染症防止対策

(1) 集団感染のリスクとなる「密閉」「密集」「密接」の状態を回避するよう努めます。

ア 屋内での活動の際は、1時間に1回以上換気を行う。※防寒対策をお願いします。

イ 近距離での活動はできるだけ避ける。

ウ 常時マスクを着用する。

食事中：2メートルの距離を確保するか「食事」と「会話」を分け、「会話」時はマスク。

運動時・屋外：十分な距離を確保し、会話をする場合はマスク。

エ 咳エチケットを励行する。

(2) 清潔な環境をつくるよう努めます。

ア 生徒も教職員も手洗いを励行します。特に給食前の手洗いを徹底します。

イ 教職員により、ドアノブ・スイッチ等手の触れる場所の消毒を毎日行います。

2 ご家庭へのお願い

(1) 登校前の検温 ※学校にも体温計はありますが、登校前の検温にご協力ください。

登校前に37.5℃以上の発熱や咳等の症状がある場合は、必ず学校に連絡し、登校を見合わせてください（登校後に同様の症状がある生徒は早退させます）。この場合は、欠席にはなりません。部活動等で土日に登校する場合も検温の上、症状がある場合は参加させないようお願いいたします。また、ご家族に同様の症状がある場合も、学校にご連絡ください。

(2) 清潔なハンカチの持参

現状では、学校でできる唯一の感染予防策が手洗いです。清潔なハンカチで拭くことで、学校の衛生環境が保たれ、お子様の感染を防ぐことができます。口や目など顔を触る癖がある場合、手洗いの効果が無いばかりか、感染のリスクが高まります。ご家庭でも観察願います。

(3) 家庭内感染の防止

Go To キャンペーンもあって人の交流が活発になってきています。これに伴い10月頃より家庭内感染の事例が全国的に多数報告されています。ご家庭におきましても、手洗い、マスク着用、咳エチケット、換気、近距離での会話の回避、さらに、不特定の集合による宴会、狭小な個室の利用など感染を広げる可能性のある場面をできるだけ避けていただくようお願いいたします。

(4) 積極的な検査の実施

検査態勢の拡充により、以前に比べて検査が迅速に行われるようになりました。発熱のみならず、のどの痛みなど普段と体調が異なる場合は、積極的に検査を受診願います。また、11月より受診の流れが変わり、まず「かかりつけ医」に電話で相談し、病状や検査方法を確認願います。かかりつけ医がない、分からないなどの場合は、「受診・相談センター：岩手県の場合は電話019-651-3175（24時間・平日土日祝とも）」に電話で相談し病状や検査方法を確認してください。また、PCR検査・抗原検査のいずれかを受診した場合は必ず学校に連絡願います。

3 万が一生徒・保護者・教職員及び関係者に感染が確認された場合

どなたが感染したかによって学校継続・当該関係者のみの出席停止・学級閉鎖または学校休校など対応が異なります。また、学校に感染が無くても、周辺地域で感染が拡大するなどの要因によって学校を休校することも考えられます。国のガイドラインに沿って、保健所等の関係機関の指示に従うことになりますので、ご承知おきください。